

# 「当社の自衛消防隊活動について」

～当社が入居する高層テナントビル当社自衛消防隊長として～

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント(株)

取締役経営企画部長 村田 宜昭



## 内容

1. 当社の自助の取り組みについて
2. NHK1・17スペシャルの取材を受けて
3. 今後に向けて

## 当社の自助の取り組みについて

### 当社オフィス内震度6弱で什器・備品固定

～3月11日のオフィス内の状況～

地上震度5弱・27階震度6弱の揺れ

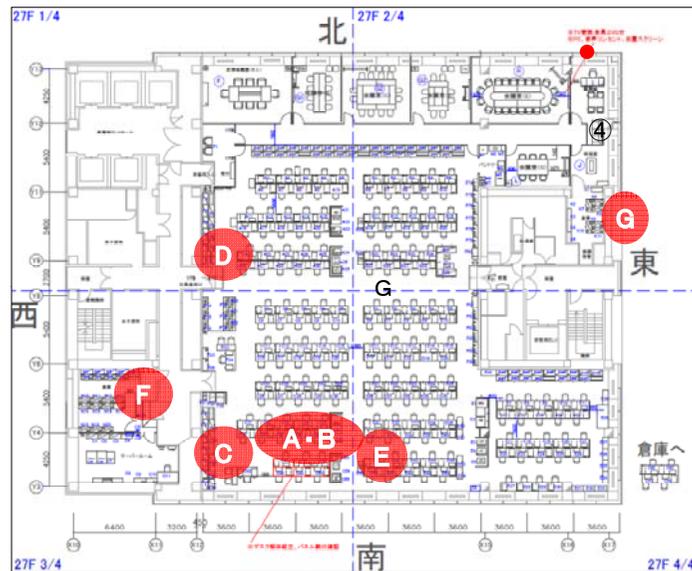


西新宿高層ビル27階当社フロア



固定していない某高層ビル室内フロア

## 当社27階オフィス内非常用品備蓄品保管図



- ①簡易トイレ
- ②救急セット
- ③ランタン
- ④ラジオ
- ⑤救急箱
- ⑥トランシーバー
- ⑦MCA無線
- ⑧ワンセグテレビ
- ⑨メガホン
- ⑩懐中電灯
- ⑪携帯充電器
- ⑫防災BOX
- ヘルメット・エマージェンシーセット
- 各自配備と予備在庫  
(来客及出張者用)

## 備蓄品の保管場所

No.	備蓄品	数量	保管場所
1	簡易トイレ	600	経理デスク下 A
2	救急用品 救急セット20人用	1	経理デスク下ワゴン B
3	ランタン	15	法務キャビネット(P38上) C
4	ラジオ	3	経理デスク下ワゴン B
5	救急箱	1	文具類キャビネット D
6	トランシーバー	2	南側窓際デスク上 E
7	MCA無線・ホームエネルギーサーバー	1	南側窓際デスク上 E
8	ワンセグTV	1	経理デスク下ワゴン B
9	メガホン	1	経理デスク下ワゴン B
10	懐中電灯	3	経理デスク下ワゴン B
11	携帯充電器	1	経理デスク下ワゴン B
12	防災BOX	一式	コア室倉庫 F
13	ヘルメット(予備)	18	喫煙室奥の倉庫 G
14	エマージェンシーキット(予備)	31	喫煙室奥の倉庫 G

A:簡易トイレ



B:ラジオ・ワンセグテレビ・メガホン

・懐中電灯・携帯充電器



C:ランタン



E:トランシーバー・MCA無線・ホームエネルギーサーバー



保管庫

## 当社模擬停電訓練 (12年11月14日エステック情報ビル総合防災訓練)

必要装備の検証と停電もある得ることを社内に徹底



想定外は、パニックと混乱を招く恐れ、事前の備えが不可欠



## 停電時の入館方法事前チェック

阪神・淡路大震災のときも、ビルは無事でも、入館できないビル続出 !

### 【停電時に、キーボックスから事務所キーを取り出す方法】

1. ビルが停電になると、ビルカードによるB1階キーボックスの蓋が開けがなくなる。
2. 有事に事務所キーの取り出しを行う場合は、防災センターに依頼し、マスターキーで蓋を開ける。

午前5時46分に発災



損傷ジャパン神戸元町ビル

### 【停電時のテナントスペースへの入退出方法】

1. 停電すると、電気錠はロック状態のままになり、セキュリティカードでの解錠が不能。入室するためには、電気錠を通常の鍵で開ける必要がある。
2. 普段締め切りになっている南側出入口は、電気錠が付いていないタイプ。有事(停電時や電気錠システムトラブル時)に入室する場合の扉とし、そのキーを追加したものである。  
(南側通用口キーもB1階キーボックス内に収納)
3. 非常用のキーであり、通常の開け閉めには使用しない。
4. 地震等で停電になった場合、電気錠の付いている扉は、セキュリティカードで開けられないが、室内側には非常用のサムターンが付いている(プラスチックカバー付き)ので、これを回せばドアは開けられる。有事の避難に使用する目的である。

## 東京都の条例制定対応で3日分食料備蓄手当て

備蓄場所の確保が最大の課題:各自に配布

- 【数量:各人配布+予備在庫】

- 【内容】

- ①アルファ化米3食分⇒(水を入れると約60分で食べられる状態になる)
  - ②500mlペットボトル入りの水1本⇒(アルファ化米を食べる際に使う水)
  - ③上記①②を収納保管するためのバッグ1個⇒椅子の下に装着可能
- ※①②を③に入れた状態で各人に配付



一泊であれば、既に配布済みのエマージェンシーキットで対応可能。

エマージェンシーキットの中身:食料、飲料水、保温シート

- ・食料:フードバーが9本(1日3本1200Kcalの3日分)
- ・飲料水:1/パック125ml 9/パック(3日分)
- ・食料、飲料水ともに保存期間は製造日から5年
- ・保温シート:アルミ製、防水・絶縁加工、雨よけシートとして使用可



NHK1・17スペシャルの取材を受けて

## 13年11月当社訓練を他テナントへ公開

社長以下全員が参加する訓練



## 他社テナントよりオフィスの防災対策が進んでいる

～公開すれば他テナントの取り組みのヒントになる～

安全安心なオフィスレイアウト作り



耐震固定方法など

## 地震と火災の複合災害に対する備えが新たな課題に

高層建築物等における歩行困難者等の避難安全対策の推進について(東京消防庁 平成13年10月指導基準)

一時避難エリアへの水平避難→垂直避難  
(平時の火災前提にした指導)

3次元搬送の困難さを実証実験



09年9月防災の日のNHKスペシャル



## 当社はビル内に留まることを前提に対策を進めていた

高層ビルの要援護者(高齢者・妊婦・ハンディキャップなどを持った方)+新たな要援護者(什器・備品の転倒などによる負傷)のいのちをどう守るか

口が停止すれば、避難階段があるのみ



搬送手段? 健常者の避難との棲み分けは?

## 自衛消防隊長として考えたこと

全員野球で首都直下地震を乗り切る雰囲気づくり

来客&役職員に対する安全配慮の法的義務  
遵守が最大の使命(3・11の組織の苦い教訓)



今後に向けて

## ビル全体の防災について1テナントとして関与する

1. 1月A社課長・ビル管理会社部長と懇談。本社機能がある両社が中心になりビル管理会社との協働による有志テナントとの懇談会の立ち上げを合意
2. 2月に懇談会開催予定(他テナントへの参画を呼びかける)  
42テナントのうち当社を含めて8社程度参加いただける見込み
3. 新年度中にビル管理会社では、ビルに残留するか即時全館避難するか建物の安全を判定する要領を策定する意向
4. 当社としても、来客及び役職員のいのちを守り、本社機能維持のために、ビルの防災体制づくりに当社の強みを生かして関与する

